

広報

# なんせい

## 第35号

発行 南西糖業株式会社 編集 総務部  
〒891-7621  
鹿児島県大島郡天城町兼久高釣2337  
Tel 0997(85)3125 Fax 0997(85)3129



あいせつな人に  
「ありがとう」

© 2019 農林水産省

### 新役員紹介



徳之島事業本部長  
網島 弘信  
(あみじま ひろのぶ)

新年明けましておめでとうございませう。

島内の皆様におかれましては健やかな新年を迎えられましたこと、心よりお慶び申し上げます。

さて、私は昨年11月28日の株主総会にて弊社常務取締役選任、承認賜り、12月1日から徳之島事業本部長として勤務いたしております。

直前の勤務地は福岡県でしたので、それほど遠くに赴任したという感覚はございませんが、自然豊かな徳之島に降り立つなり、豊さゆえの気象変化を肌で感じまして、すでに春が待ち遠しく、とても暑いと聞いておりますが夏も楽しみにしているところで

### 新役員体制のご案内

弊社第57回定時株主総会並びに取締役会におきまして下記のとおり役員が選任され、それぞれ就任いたしました。

つきましては、今後とも社業発展のため一層精励いたす所存でございますので、何卒倍旧のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長	神崎 俊
常務取締役徳之島事業本部長	網島 弘信
常務取締役企画経理部長	高垣 建志
取締役徳之島事業本部長	松山 洋次郎
農務部長	
取締役徳之島事業本部長	武原 清隆
製造統括担当	
取締役(非常勤)	伊藤 哲也
取締役(非常勤)	東 正幸
監査役(非常勤)	三浦 直貴
監査役(非常勤)	三谷 善雄

なお、専務取締役 徳之島事業本部長 新美 薫は退任いたしました。在任中、賜りましたご厚情に厚く御礼申し上げます。

でございます。また、製糖期が始まったばかりですが、収穫に勤しむさとうきび農家の皆様のお力添えを賜りながら、当年度の収穫高に期待を膨らませているところでございます。ここ3年ほどは、国内外の様々な不安な情勢が続いており、島内に限らず全国的に日常生活にまで暗い影を落としておりますが、少しでも以前のような日常を取り戻せるように、

社員の皆様とともに元気で明るい職場環境づくりを目指したいと思っております。さて、弊社の業績につきまして昨年度は、さとうきび農家の皆様、関係各位の多大なご協力を賜りましたが、天候等の自然要因のみならず昨今の物価高騰を受けまして、厳しい決算状況となっております。この環境は一朝一夕には解決を望むべくもなく、弊社のみならず業界全体

の問題として全社を挙げて一層の努力が必要と考えております。若輩の身ではありませんが、各関係機関の皆様からご指導、ご鞭撻を賜りながら鋭意努力させて頂きますので何卒よろしくお願い申し上げます。

### 工場見学について

今製糖期においても、新型コロナウイルス感染症の拡大予防としまして、全ての事業所において、毎日の検温やマスク着用及び手指の消毒等を徹底するなど、万全の予防策をとり操業に臨んでいます。

このような状況下でするので、今製糖期の工場見学は原則としてお断りさせていただいております。皆様のご理解・ご協力をお願い致します。



# 新戦力のご紹介

今年の6月から伊仙町東部地区(喜念から検福)を担当する松山尚也です。

私は、平成26年の入社以来、伊仙工場の製造現場に従事し、今年の6月から原料事務所に配属になりました。

学生時代に相撲部で培った地道な毎日の持続力をモットーに、何事にもとことん全力で取り組みます。

現在、休日を活用してサトウキビを栽培し、管理作業や雑草対策に創意工夫を重ねています。今後は農家の皆さんのサトウキビ作りをサポートすることで、自身の成長にも繋がりたいと考えております。



伊仙原料事務所  
松山技術員



徳和瀬原料事務所  
樺山技術員

今年の6月から徳之島町中部地区(母間から亀徳)を担当する樺山輝です。

原料事務所の仕事は農家のみなさんや役場、農協等の関係機関との関わりがあり早く仕事を覚え、少しでも力になれるよう頑張ります。また、農家さんからサトウキビ栽培について聞かれた際には、的確なアドバイスを出来るように、知識の習得にも努めます。

当社の大多数の社員がサトウキビを栽培しており、私も特技の空手で鍛えた体力を活かし、自営のサトウキビ面積を拡大し、地域の増産活動に貢献できるように、積極的に取り組んでいきます。

## 徳之島さとうきび 新ジャンプ会だより

島内の営農組織を中心に、ハーベスタを核とした機械化体系の確立や作業効率の向上に取り組んでいる徳之島さとうきび新ジャンプ会(内博行会長)は平成23年に発足し、現在は36名の会員が研修会等ですとうきび栽培方法に関する技術や農業機械の有効活用等を研修すると共に、それぞれの栽培や農業機械に関するノウハウを意見交換することで会員の技能向上を図っています。

今回は11月に開催した研修会をご紹介します。

室内研修会のテーマは、畝幅 150cm における収量等への影響について



令和4年度秋期研修会(徳之島さとうきび生産対策本部共催)

### □ 魚谷鉄工(株)製ビレットプランターの主な特徴

- ・ 苗コンベアは中央に設置し、PTOで駆動する。
- ・ 苗偏り防止のため、油圧シャフトでホッパーを前後に振動。
- ・ ホッパー上部、苗の落下口、転圧タイヤの上部にカメラを配置、トラクター運転者が、モニターで確認できる。

### □ 松元機工(株)が開発中のミニトラクター用施肥機の主な特徴

- ・ ホッパーは腐食対策からステンレス鋼で容量は100kg(肥料5袋)
- ・ 10アール当たり60kg(肥料3袋)程度の散布量に調整済み
- ・ 動力がタイヤ駆動のため、速度に応じて散布量が可変。これにより作業時間の短縮が可能。

### □ 会員による作業機の改善例

- ・ 市販のスcoopと施肥機を合体。
- ・ 耕起作業時に株元付近に施肥することで、作業時間を短縮。
- ・ 表面施肥の場合は雑草優位や肥料の流出等があり、株元付近への施肥が有効と思う(会員等からの意見)



# スマート農業、始動



(有)南西サービス社長  
松林 福光

さとうきび農家の皆様、初めまして。有限会社 南西サービスの松林福光と申します。令和4年10月の定時株主総会において代表取締役役に就任いたしました。平素は、管理作業のご利用や肥料購入等で弊社をご利用頂き、誠にありがとうございます。弊社は徳之島のキビ産業を「オール徳之島」で維持拡大していきたいと考えております。今後ともご愛顧・ご指導をよろしくお願い申し上げます。

私は、南西糖業(株)に昭和62年に入社し、20年以上農務部門に携わってきました、その間、さとうきび農業は機械化され、更にスマート農業へと移行しつつあります。

スマート農業の一例をご



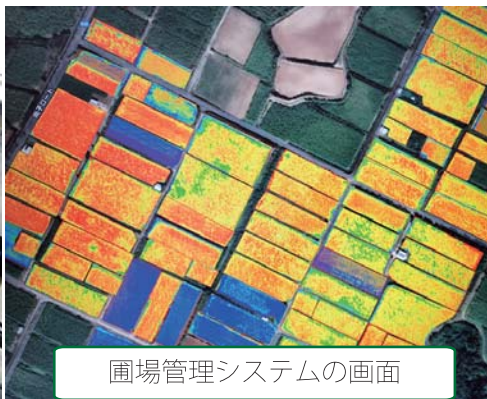
自動操舵トラクターによる耕耘

紹介すれば、熟練を要するトラクター作業は、パソコンやスマートフォン等からインターネットと人工衛星を利用してトラクター位置情報を取得し、それとトラクターの自動操作システムを組み合わせると、ベテラン作業員と同様に真っ直ぐな畝立てや、今までは畝幅がまちまちだった全茎プランターやビレットプランターで同じ畝幅での植付作業が可能となります。

経験の浅い作業員には精神的な余裕が生まれ、記録したベテラン作業員の作業軌跡を真似る事で、技術の



自動操舵トラクターの運転室



圃場管理システムの画面

早期習得に繋がり、後継者育成等に役立つと考えております。

今後、スマート農業機器を活用し、効率的な作業と人手不足の解消に繋がれるよう取り組み、明るく楽しいきび作りを目指してまいります。

## メリクローンセンターからのお知らせ

メリクローン苗、一芽苗(補植用のポット苗)セルトレーの扱いが変わりました。

### ① セルトレーを返却する場合(保証金制度)

- ・セルトレー代 500円/枚を苗代と併せてお支払いください。
- ・セルトレーを返却した時に 500円/枚をお返しします。
- ・返却は3カ月以内で、セルトレーの洗浄をお願いします。

### ② セルトレーを返却しない場合(セルトレーを買い取る場合)

- ・セルトレー代としてメリクローン苗用 230円/枚、一芽苗用 330円/枚をお支払いください。



一芽苗用  
セルトレー

メリクローン苗用  
セルトレー

メリクローン苗、一芽苗の販売価格は**令和5年1月1日**より **20円/本**となります。

お問い合わせ先

徳之島さとうきび培養苗実用化推進機構(メリクローンセンター)

天城町瀬滝 1405番地1 天城町農業センター内(81-2030)

営業時間 9:00~16:00(土日・祝祭日はお休み)

# 新年のご挨拶



代表取締役社長  
神崎 俊

新年あけましておめでとうございませう。

一昨年来続いておりました新型コロナウイルス禍も、ここ徳之島におきましては陽性者が目に見えて減少しており、このまま収束に向かうことを心から期待しているところでございます。

さて、令和2/3年間に徐々に18万トンを超えたさとうきびですが、昨期(令和3/4年期)は17万トンをわずかに超えたところまで減少しました。

作付面積がほとんど変わらない中で約1万トンの減少となりましたことは単純に単収低下ということであり、大きな気象災

害もなかった中での単収低下は弊社のみならずさとうきび産業全体にとっても看過できない状況にあります。

また、今期(令和4/5年期)につきましても11月時点での予想ではありませんが、面積は3,226ha(139ha減少)、単収は持ち直して約53トン/haとなりませんが、さとうきび生産量はおおよそ17万トン程度という厳しい予想であります。

幸にも茎数・茎長はまずまずということですので、今後登熟が進み糖度が少しでも上がることを祈っております。

弊社は面積の回復と単収向上を目指し、今年も関係機関と連携し取り組んでまいります。皆様の一層のご支援を切にお願い申し上げます。

最後になりますが、皆様今年も穏やかで幸多い年になりますよう心よりお祈り申し上げます。新年のご挨拶いたします。

## 今期の製糖計画

キビ処理見込量	16万8,762ト
製糖開始日	令和4年12月20日(火)
年内搬入終了日	令和4年12月27日(火)
年明け搬入開始日	令和5年1月5日(木)
工場休日	年末年始 令和4年12月30日(金) ～令和5年1月3日(火)
	春植推進日 (予定) ①令和5年2月6日(月) ～2月8日(水) ②令和5年3月1日(水) ～3月5日(日)
キビ搬入終了予定	令和5年3月27日(月)

サトウキビの増産に備え、近年、工場はポイラー大型補修工事に加え、製造工程の省力化・自動化工事を進め、より安定的・効率的な工場運営を目指しております。



工場総合試運転の様子

操業日程については、早期の春植え推進および適期の管理作業のことを考え、3月中で操業が終了するように12月20日に原料受入開始、3月27日に原料搬入終了で計画いたしました。

2月と3月に春植え推進期間を設定しておりますので、春植え作業や管理作業の推進をお願いいたします。

### 工場からのお願い

工場に運ばれるさとうきびの約99%がハーベス

ターで収穫されたものです。

空き缶や鎌などの金属類がハーベスターに入りますと、ハーベスターの刃物を傷めるのはもちろん、そのまま工場に持ち込まれると工場の機械も傷めてしまいます。

場合によっては、工場を長時間停止することになり、農家の皆さんにご迷惑をおかけすることになりかねません。

工場を安定操業させるためにも、空き缶のポイ捨て防止や収穫前に園芸パイプの撤去をするなど、**金属類の混入防止にご協力をお願い申し上げます。**



工場で確認された金属類